

レモン(成木)

【令和7年1月1日現在の農薬登録内容】2025版

※ 太枠は重要防除です。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
収穫後	かいよう病		ICボルドー66D 100倍(アピオンE 1000倍加用)又は ムッシュボルドーDF 1000倍(クレフノン200倍加用) 発芽前であればアピオンE、クレフノンの加用は必要ない。
4月上旬	ミカンハダニ・サビダニ		アタックオイル 100倍 又は ハーベストオイル 100倍(ミカンハダニのみ) 又は スプレーオイル 100倍
	注) ICボルドー66Dとマシン油との散布間隔は14日以上空ける。 注) カイガラムシ類を多く見かけた場合は アプロード水和剤1000倍をマシン油に加用し散布する。 注) ミカンナガタマムシによる枯死樹は5月以降、成虫発生源になるので、園外処分する。		
5月上旬 ～ 中旬 (開花盛期 ～ 落弁期)	かいよう病		コサイド3000 2000倍又は イデクリーン水和剤 500倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
	灰色かび病 そうか病		ストロビードライフロアブル 2000倍 (収穫14日前まで)
	チャノホコリダニ ミカンサビダニ		イオウフロアブル 400倍
	コアオハナムグリ	劇	モスピラン顆粒水溶剤 4000倍 (収穫14日前まで)
	注) イデクリーン水和剤及びイオウフロアブルはマシン油散布後14日以内の近接散布は行わない。 イデクリーン水和剤はそうか病、チャノホコリダニ、ミカンサビダニにも登録がある。		
6月中旬 ～ 6月下旬	黒点病		ジマンダイセン水和剤 600倍 (収穫90日前まで)
	ミカンハダニ カイガラムシ類		アタックオイル 150倍 又は ハーベストオイル 150倍 又は スプレーオイル 150倍
	アザミウマ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ	劇 劇	コテツフロアブル 6000倍 (収穫前日まで) 又は ハチハチフロアブル 2000倍 (収穫前日まで)
	注) カイガラムシ類、多発園では、アプロードエースフロアブル1000倍を散布する。 サンホーゼカイガラムシが多発した時は5月下旬、 ヤノネカイガラムシが多発した時は6月上旬に散布する。 ※4月上旬にアプロード水和剤マシン油に加用して散布した場合は、アプロードエースフロアブルの散布は不要。 アプロードエースフロアブルはミカンサビダニにも効果有り。 注) ミカンナガタマムシ・ゴマダラカミキリ成虫の発生園では、エクシレルSE 5000倍またはアクセルフロアブル2000倍を散布する。		
7月	かいよう病 黒点病		コサイド3000 2000倍 又は イデクリーン水和剤 500倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
7月下旬 ～ 8月中旬	黒点病		(収穫90日前までなので、収穫前日数に特に注意する) ジマンダイセン水和剤 600倍 (収穫90日前まで)
	ミカンハモグリガ チャノホコリダニ ミカンサビダニ アザミウマ類	劇	メビウスフロアブル 3000倍 (収穫14日前まで)
	注) カイガラムシ類を多く見かけた場合は コルト顆粒水和剤 3000倍を散布する。 注) ジマンダイセンフロアブルを散布できない場合、キノドー水和剤80 800倍(収穫30日前まで)を散布する。		
8月下旬 ～ 9月上旬	ミカンハダニ ミカンサビダニ チャノホコリダニ		ダニゲッターフロアブル 2000倍 又は ダブルフェースフロアブル 2000倍
	かいよう病・黒点病		コサイド3000 2000倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
	注) 毎年黒点病が多い園ではストロビードライフロアブル2000倍(収穫14日前まで)を散布する。 注) カメムシ類の発生が多い園ではスタークル顆粒水溶剤2000倍(収穫前日まで)を散布する。		
10月下旬 ～ 11月上旬	ハダニ類・サビダニ類		オマイト水和剤 750倍 (収穫14日前まで)

散布量は500～600 $\frac{g}{10a}$ を目安にタツリ散布する。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」